

2.1 配置計画

■配置計画

- ・校舎は高圧線を避けた敷地南側に、グラウンドは北側に配置します。
- ・統合後の二学区からの通学を考慮し、正門は現在と同じく、南西の歩行者専用道路に面して設け、正門前にマチカド広場を整備することで、児童のアプローチ空間や地域の憩いの場とし、学校と地域のつながりを育む計画とします。
- ・学年コモンズは敷地南側に近接する四宮1号公園に面した配置とすることで、南面採光と落ちついた学校環境、南の眺望を確保します。
- ・教職員コモンズは正門、グラウンドが見渡せる位置に配置し、中央のメディアコモンズ・地域ナカモールにも見通しがきく計画とすることで、児童の登下校や外来者の確認、児童や地域の活動の見守りが容易となる安全性の高い計画とします。
- ・校舎の東側に地域ソトモール、校舎と屋内運動場の間を貫通するに地域ナカモールを設け、地域と学校の結節点とし、地域ナカモール沿いに地域コモンズ・屋内運動場を開放的に配置し、児童との交流を促します。
- ・屋内運動場は浸水などを考慮し、2階に配置します。
- ・学年コモンズの南側には公園とつながる低学年用の広場を設け、活動を地域に向け表出します。

■動線計画

- ・中高学年は正門から昇降口を通して、各階の学年コモンズにアクセスします。
- ・低学年は正門から低学年広場を通して、南側中央の専用昇降口からアクセスします。児童が休み時間や授業中に気軽に低学年広場を利用できる計画とします。
- ・教職員用・来校者用の駐輪場は正門に近接した西側に配置します。
- ・放課後児童クラブの保護者の送迎は正門と東門からの2か所とします。
- ・地域の方は東門および南門からの動線とし、地域ソトモール・ナカモールからのアクセスとします。
- ・メンテナンス車両や給食関係車両は、東側の車両専用門からとし、同じ場所に駐車場を設け、歩車分離を徹底します。
- ・バスは昇降口付近に臨時駐車を行う計画とします。



2.2 平面計画

■3つのつながりを実現する「パノラマ・プラン」

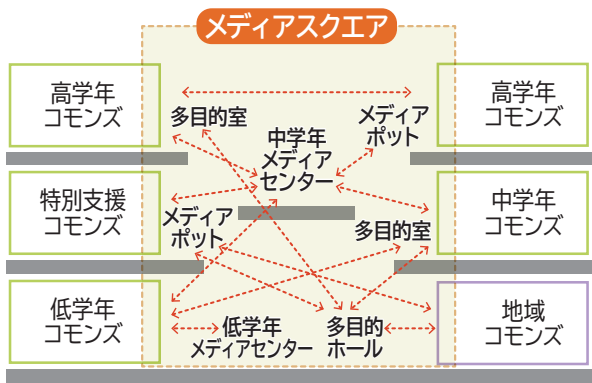
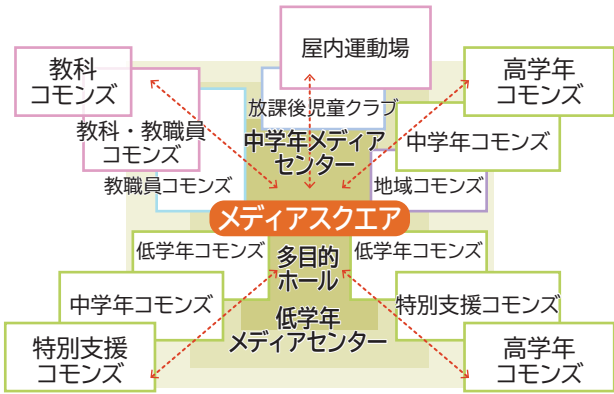
学校中央に配置された「メディアスクエア」を中心に6つのコモンズを開放的かつ相互に対面する分棟型の配置とします。

各コモンズは中央の多様な空間を有するメディアスクエアを介した回遊動線により、児童の豊かな学びを育みます。

■多様な学び・活動・交流の場となる「メディアスクエア」

メディアスクエアは、吹抜け・セットバック・回遊動線・スキップフロア・メディアステップで構成され、コモンズ同士を視覚的・空間的につなぎます。

学校全体の共用スペースとして、異学年交流や協働活動などの「縦のつながり」を促します。



門真市立第五中学校区小学校 基本設計

株式会社 昭和設計

■「横のつながり」を創る6つのコモンズ

学年コモンズ

普通教室3室と多様な学習形態や生活の場として活用される学年共用スペースで構成します。フレキシブルなオープンスペース、ワークスペース、水回り、先生コーナーなどを配置した機能完結型の計画とし、同学年同士のつながりを高める基本計画とします。

特別支援・通級コモンズ

学年コモンズと同一階に配置し、学年コモンズとの往来、交流、連携や互換性を高め、インクルーシブな教育を促します。

教科コモンズ

各特別教室とSTEAM教育による多様な学習形態に対応する教科メディアスペースで構成します。教科メディアスペースにはオリエンテーション・調べ学習・グループ学習・発表などの多様な学習形態への対応とともに、教科独自の教材や作品などの学習メディアをオープンに配備し、児童の日常的な立寄り、学びを促し、知的好奇心を育みます。

教職員コモンズ

執務エリアは1階にまとめて配置し、教職員間の連携がとしやすい計画とします。執務空間には打合せスペースやカフェコーナーも設け、日常的な教職員間のコミュニケーションを促す計画とします。メディアスクエアに面した一角は開放的な設えとすることで、教職員と児童・地域とのつながりや安心感を強化します。

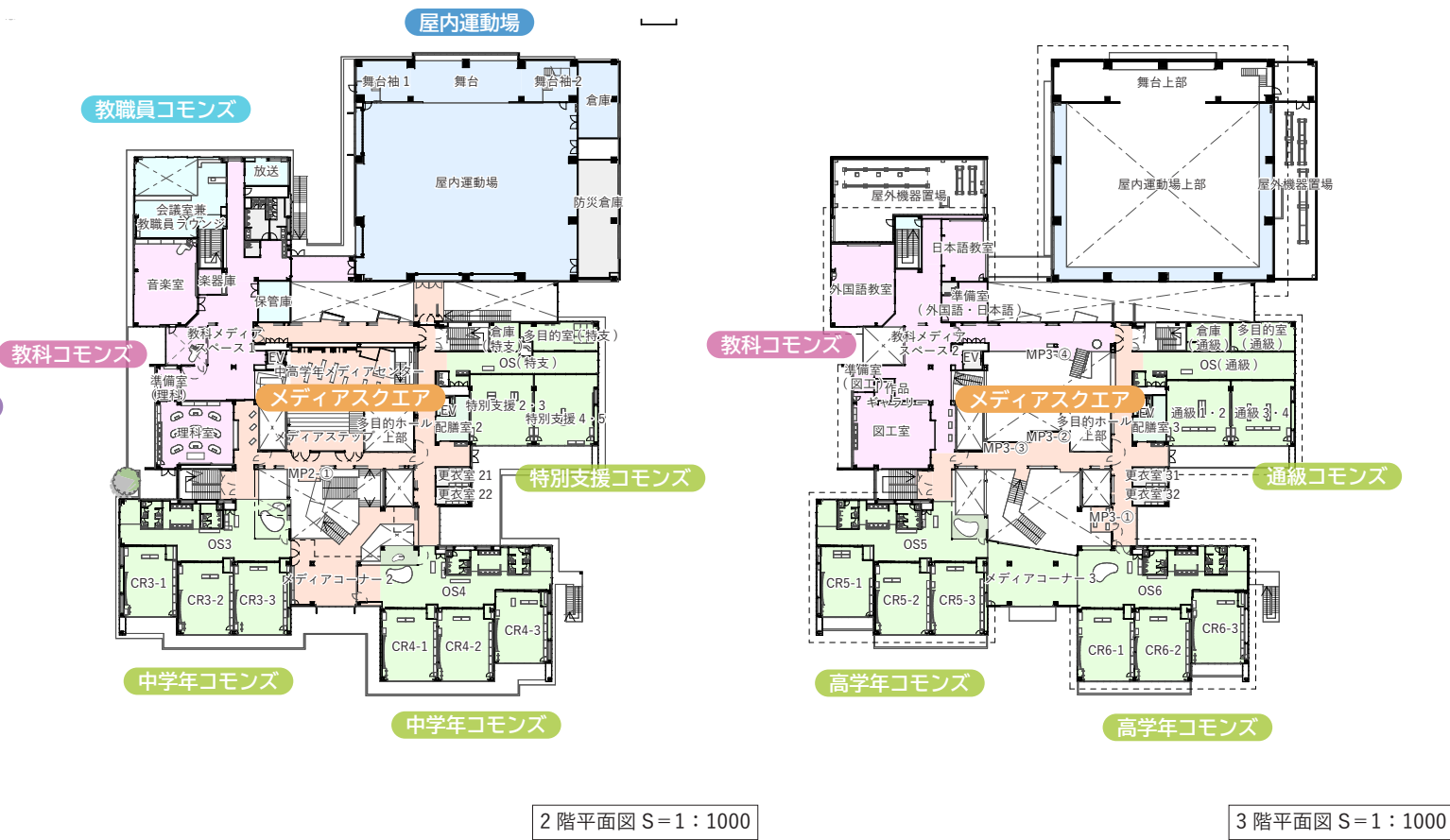
地域コモンズ

地域と学校の結節点となる地域ナカモール沿いに配置し、隣接するホールや家庭科室等の段階的な利用を促します。

放課後児童クラブ・給食・屋内運動場

放課後児童クラブは長期休み等の利用を考慮し、グラウンドに面した位置とし、地域ナカモールの利用も可能な計画とします。給食は搬入動線を考慮し、東側駐車場に面した位置とします。

屋内運動場は災害時を考慮し2階に配置し、地域ナカモールに開放的な設えとすることで、活動がにじみ出る計画とします。



2階平面図 S=1:1000

3階平面図 S=1:1000

基本設計概要書



地域ナカモールイメージ



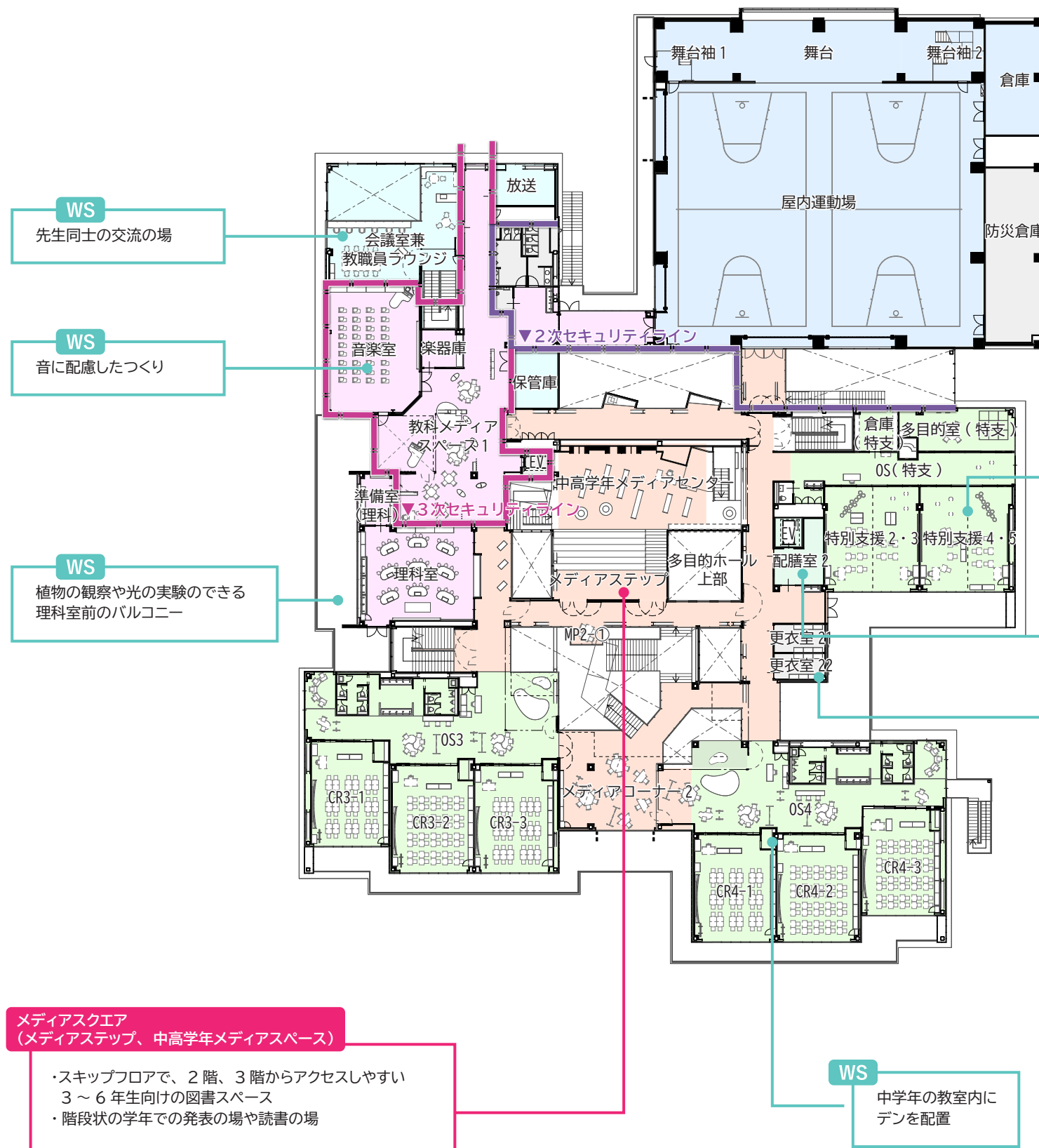
低学年コモンズ：デンイメージ



低学年メディアスペースイメージ



低学年広場イメージ



地域ナカモール・屋内運動場イメージ



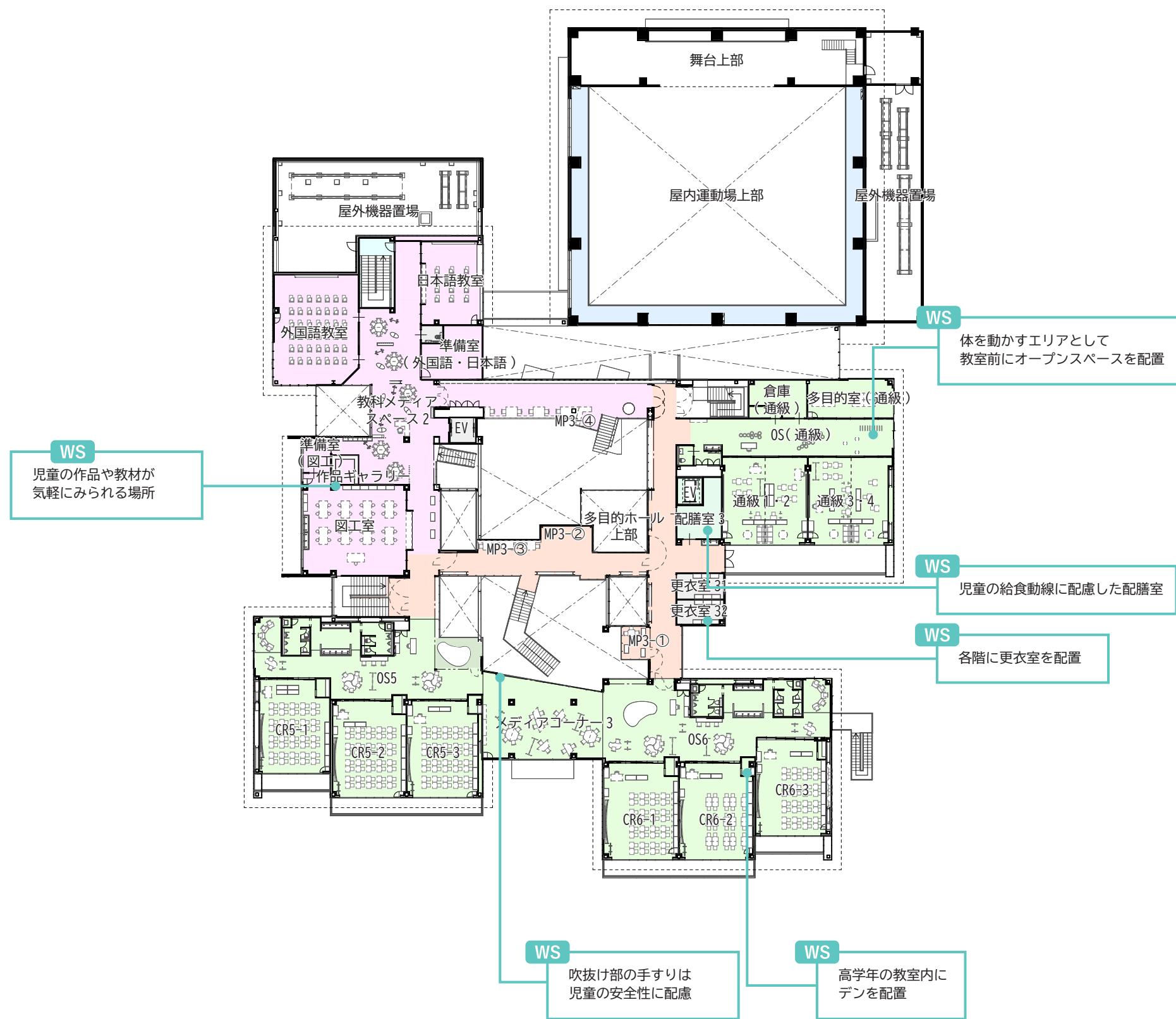
教科メディアスペースイメージ



メディアスクエアイメージ



メディアスクエアイメージ



3階平面図 S=1:500



通級コモンズ：オープンスペースイメージ



学年コモンズ：ワークスペースイメージ



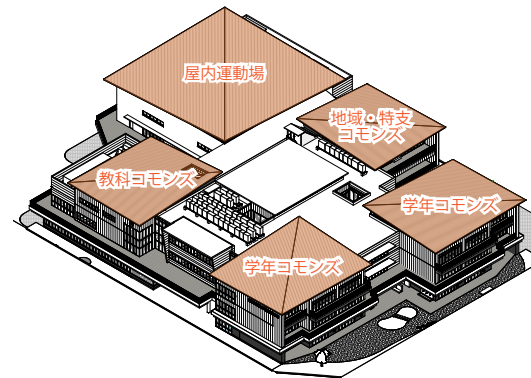
学年コモンズ：オープンスペースイメージ

2.3 立面・外観計画

■外観デザインコンセプト

「未来へ羽ばたく 学びの翼」

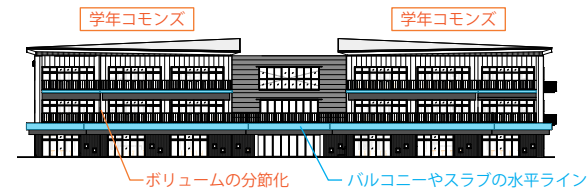
1. 屋内運動場を含めた commons ごとに屋根を設け、各 commons を島状配置とした建物構成が外観からも感じとれる計画とします。



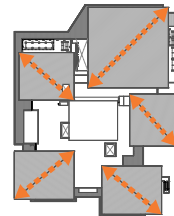
2. 各 commons の屋根形状は、北奥本小学校の校章の由来である鳥の羽をモチーフとし、この校舎で学ぶ子どもたちの成長と未来へ羽ばたくことを表現します。



3. commons の島状配置により、建物のボリューム分節を図り、加えて、水平に張り出すバルコニーやスラブで1階と2階・3階のボリュームも分節を図ることで、圧迫感を抑え周辺住環境との調和と地域のシンボルとなる景観形成にも寄与します。



4. 校舎中央のメディアスクエアを中心に各屋根の棟が放射線状に沿う形状とすることで、各 commons とメディアスクエア、学校と周辺環境とのつながりを表現し、敷地全体として統一感のある計画とします。



2.4 断面計画

- ・メディアスクエア上部のハイサイドライト、3ヶ所の光庭により建物中央部にも自然光を取り込みます。
- ・メディアスクエアの吹抜け空間により、各コモンズを視覚的・空間的に連結し、活動の展開や広がり、縦のつながりの連鎖を生む空間とします。
- ・ホールの一部を3層吹き抜けとすることで、各階からホールでの活動の様子を垣間見ることが可能です。
- ・膜屋根により柔らかい光が入る地域ナカモールは地域の主動線となり、学校と地域がつながる3層吹き抜けのアトリウムとします。
- ・ホールや給食調理場のある1階の階高は4.2m、2階を4.0m、3階を3.5mとし、空間に適した階高設定を行います。



メディアスクエアに開かれた学年コモンズ



学校と地域がつながる地域ナカモール

凡例			
	普通教室		給食エリア
	特別教室		メディアスペース
	体育館		児童クラブ
	職員エリア		地域エリア

